

咲き誇る花の山 蓑山

実施日 2012年4月19日(木)
 天候 曇り
 リーダー 渋谷 京子
 参加者 佐藤金次、渋谷京子、伊藤久雄、
 石原勝正、徳山敬子 計5名
 費用 池袋⇄西武秩父 1,500円 お
 花畑⇄親鼻430円 和銅黒谷⇄
 お花畑300円 計2,230円
 タイム 親鼻駅(10:20) 萬福寺(10:25)
 登山口(10:33) みはらし園地
 (11:41~48) 蓑山山頂(12:15) 展
 望台(12:25~13:25 昼食) 車
 道(13:54) 和銅遺跡記念碑(14:
 07~14:15) 黒谷駅分岐(14:20)
 黒谷駅(14:33)

親鼻駅からすぐに線路を横断して萬福寺への近道に行く。境内を通り抜けいよいよ登山口へ入る。

昨夜から明け方の雨のせいかな所々滑りやすい箇所はあるものの割と歩き易い道である。意外に藪っぽい木段が終わると皆野の町が見下ろせるようになる。



4月も半ばを過ぎたと云うのに気温は平年より低く、さほど汗ばむ事も無く快適である。風も優しく足元には薄紫色のスミレが道案内をしてくれた。両側はミツバツツジの新緑で一本だけ咲きかけていた。

車道に飛び出し山道に分け入り、標高200mほどのゆったりとした尾根を行くと、みはらし園地へ到着。広々と山桜は3~4分咲き位であろうか？一週間前はまったく咲いておらず芽吹きもまだでガッカリしたが、樹木の生命力は素晴らしい！！

昭和42年から整備を始め54年に完成した美の山公園だが、農作業に使った箕を伏せた姿から蓑山と呼ばれると云う。

ツツジの群落、アジサイ園、ユリ園と次々に花開くまさに花の山なのである。

蓑山神社への道を右に分け正面を一登りで2つに分かれるが左の山桜の道へと進む。するとソメイヨシノや、枝垂桜があちらこちらに咲き乱れ、ほぼ満開の見事な桜・桜である。NHKの中継塔近くの展望台からは武甲山と秩父盆地が見渡

せる。生憎、日光連山、榛名山、秩父連峰、富士山等は霞の中で残念！

山頂は家族連れや多くのハイカーで賑



わっていた。我々も大テーブルに陣取り昼食とする。雲の切れ間から太陽がほんの少し顔を覗かせた。

たっぷりの休憩後、お決まりの集合写真となるが、大変！三角点と標識が見当たらない。係の人に尋ねたところ以前は中継塔の位置にあったが今は展望台の隅に移してあり、しかも埋め込んであると云う。どうりで見当たらない訳だ。

漸く美の山の看板を桜の木の下に見つけ無事収まった。

和銅遺跡へは展望台を背に桜の中を西に下る。やや滑りやすい急坂もあるものの竹林を過ぎると車道へ飛び出す。里山の濃いピンクの花桃や菜の花を眺めながら桑畑の中に入り再び車道に出ると「和銅採掘露天掘跡 5分」の道標がある。

直径6m程の大きな穴あき銭を形どった「和銅開珎」のモニュメントが建ち、それは奈良で明日香村などで見られた富本の古い貨幣である。



708年にこの黒谷の地で国産の銅鉾石が初めて発掘されて、喜んだ朝廷は年号を和銅と改めて銅銭を鑄造した。これが和銅開珎だそうである。いわば、日本通貨発祥の地になる。

更に山道を一登りで露天掘跡があり、原石を採掘した跡が見られる。分岐迄戻り左に黒谷駅への近道を辿り、道標に従い里山を過ぎ国道を左折すると間もなく和銅黒谷駅である。

今日は半ば諦めかけていた山桜の花も見ごろを迎えていて、里山の菜の花、レンギョウ、スイセン、ミツバツツジ、花桃、ソメイヨシノ、枝垂桜を愛で春の一日を満喫しました。



参加された皆様、有難うございました。

(記・渋谷 京子)

(写真提供・伊藤久雄/石原勝正)

